令和７年12月

第261号

"Taneyama Super Sire News"

たねやま種雄牛だより

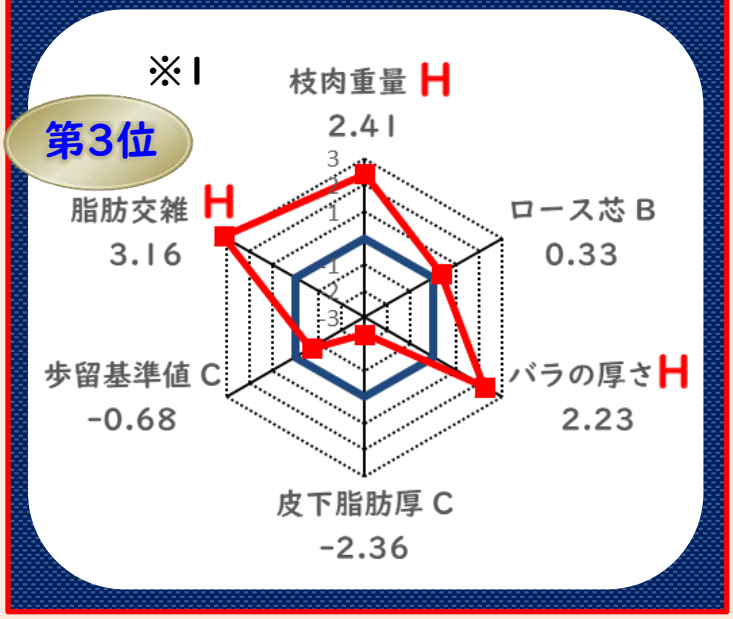
Since2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室　TEL：0197-38-2312　FAX：0197-38-2177

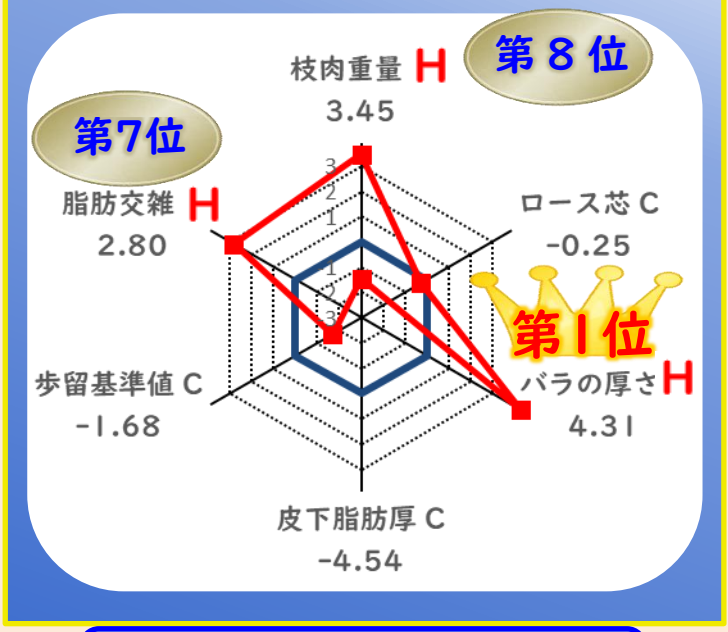
最新の育種価判明！「菊美翔平」、「福太郎３」が上位キープ！！

令和７年９月の育種価において、「菊美翔平」及び「福太郎３」が引き続き全国トップクラスの評価となり、「百合花智」が脂肪交雑、枝肉重量及びバラの厚さで、「飛良智」が枝肉重量でＨ評価となりました。

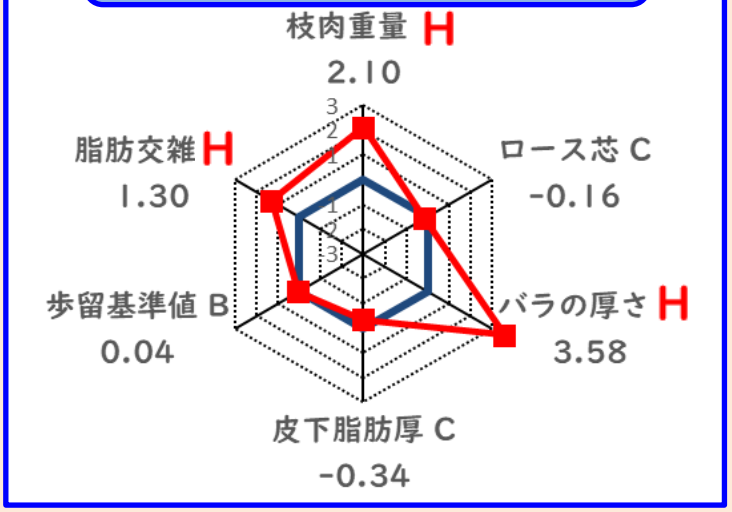
菊美翔平



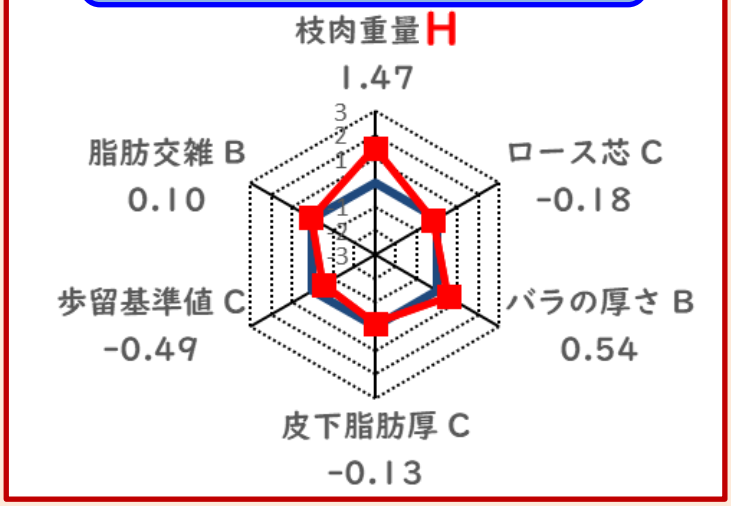
福太郎３



百合花智



飛良智



※１　順位は評価の対象となる民間及び他県等の種雄牛を含む 3,274 頭中の順位です。

枝肉６形質の育種価について

育種価は、個体の血統情報とその個体と血縁関係にある肥育牛の枝肉成績を用いて推定する**遺伝的能力の指標**です。

遺伝的能力の推定値なので「推定育種価」といいます。「推定育種価」は、改良基礎世代（昭和 50 年生まれの牛群）の遺伝的能力の平均値に対する、個体の遺伝的能力の優劣を数値で示したもので、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さ、皮下脂肪の厚さ、歩留基準値及び脂肪交雑基準値の「枝肉６形質」について算出しています。（公益社団法人全国和牛登録協会の令和７年９月評価）

本県では、枝肉６形質の遺伝的能力をレーダーチャート（左頁）で示し、種雄牛の特徴をわかりやすく示しています。これは、各形質の育種価を標準偏差単位（σ(シグマ)**値**）を用いて示したもので、県内の供用中雌牛集団の育種価の平均値をゼロとし、その牛が**集団の中でどこに位置するか**を表しています（下図）。

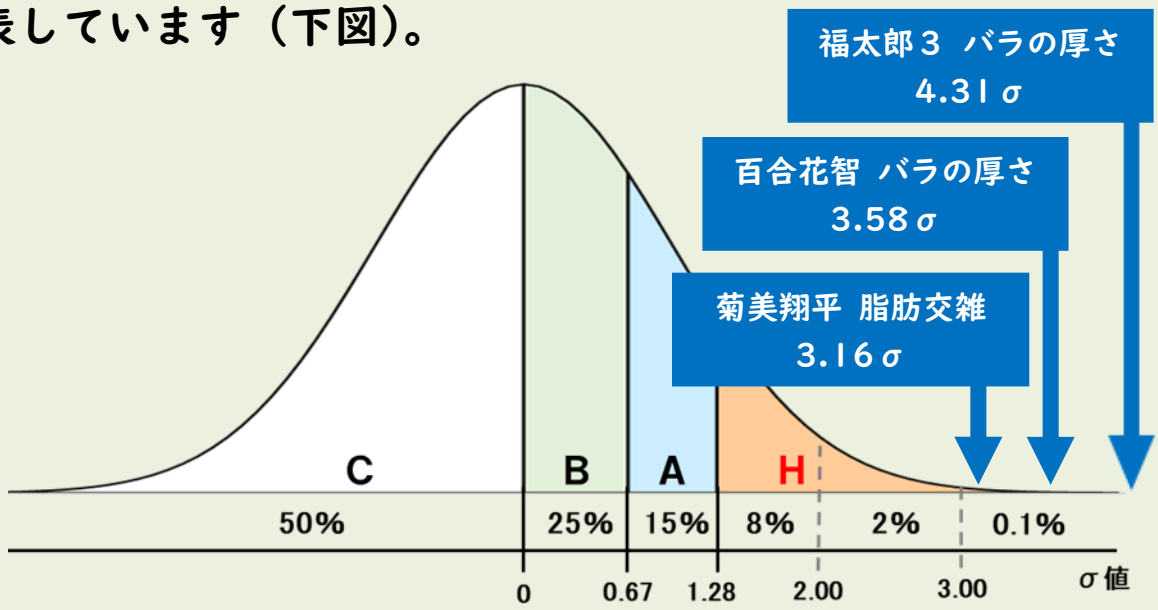


図 母集団の分布モデル ※2

※2 アルファベットは、「H」が 1.28σ以上で**上位 10%以内**、「A」が 0.67σ以上 1.28σ未満で**上位 11%～25%**、「B」が 0σ～0.67σ未満で上位 21%～50%、「C」が0σ未満で下位 50%を示しています。

「**菊美翔平**」は脂肪交雑 3.16σ、「**福太郎３**」及び「**百合花智**」のバラの厚さは 4.31 及び 3.58 であり、**H 評価の中でもずば抜けている**ことが分かります。

～種山の情報誌・SNSはこちらの２次元コードからチェック～

← 【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー

Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →